

平成 16 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社スーパー大栄
代 表 者 名 代表取締役社長 中山 勝彦
コ ー ド 番 号 9819 (福 証)
問 合 せ 先 執行役員管理本部経理部長 阪本 博美
T E L (093) 602 - 2770

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 26 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 3 月中間期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%、百万円未満切り捨て)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 5 月 26 日発表)	16,000	70	70
今 回 修 正 予 想 (B)	15,359	8	60
増 減 額 (B - A)	640	78	9
増 減 率 (%)	4.0	111.7	12.9
前期実績(平成 16 年 3 月期中間期)	15,645	107	104

2. 平成 17 年 3 月通期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%、百万円未満切り捨て)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 5 月 26 日発表)	31,500	120	100
今 回 修 正 予 想 (B)	30,650	70	120
増 減 額 (B - A)	850	50	20
増 減 率 (%)	2.7	41.7	20.0
前期実績(平成 16 年 3 月期)	30,846	162	224

3. 修正の理由

当中間期におけるわが国経済は企業収益の改善や個人消費の緩やかな回復で堅調に回復してきておりますが、景気の先行きに対しては、原油価格の高騰や、過熱する中国経済など不安要素も抱えております。小売業界におきましては、同業他社との競争はますます激化の一途をたどり、各社とも、独自色を鮮明に打ち出し、顧客の囲い込みを図るなど、厳しい環境が続いております。

このような状況下で、当社は、4月に生鮮ディスカウントの「鮮ど市場福岡店」、7月末には総菜に特色を出した、「旬鮮味市場パーニュ半道橋店」を開店し売上高確保に努めてまいりました。

しかしながら、4月1日より義務化された、消費税の総額表示の実施で、販売価格の割高感から消費者の買い控え傾向が続き、その上、例年にない猛暑や台風の影響で客足減となるなど、悪化要因がかさなりました。その結果、売上高は当中間期が 15,359 百万円(予想比 640 百万円)となり、通期は 30,650 百万円(予想比 850 百万円)に修正、経常損益は当中間期が 8 百万円の経常損失(予想比 78 百万円)となり、通期は 70 百万円の経常利益(予想比 50 百万円)に修正、当期純利益は当中間期が 60 百万円(予想比 9 百万円)となり、通期は 120 百万円(予想比 20 百万円増)に修正いたします。

以 上